

「安全に環境を再構成できる解体業者になりたい」

中学生の部・Iさんの短期入門の様子です。

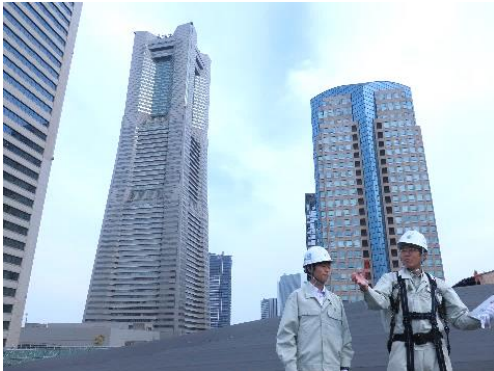
(Iさんからの報告書をもとに再構成しています)

入門先：佐藤工業株式会社東京支店みなとみらい38街区作業所（ぴあアリーナMM建設現場）と、高俊工業株式会社東京臨海エコ・プラント

期日：8月27日（火）～8月28日（水）

「解体業者」、という夢の卵だが、「安全に環境を再構成できる」解体業者ということ考えると、環境に配慮した建築方法と分別、そして廃材処理を考えなければならぬ。そのため、新築現場と産業廃棄物処理プラントを見学することになった。

1. 佐藤工業株式会社東京支店みなとみらい38街区作業所 (ぴあアリーナMM建設現場) (8月27日(火))



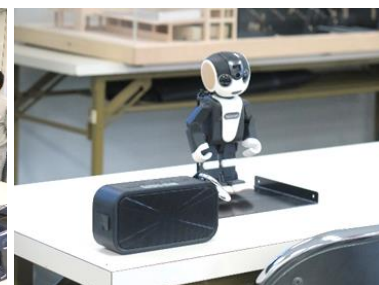
作業所はとても広く、私は建築の仕事を手近で見たことはないため、ワクワクした気持ちだった。(上左図：アリーナ屋根上、上右図：ランドマークタワーから見るぴあアリーナMM、下左図：アリーナ内)

ぴあアリーナMMは、民間主体で作るという珍しいアリーナである。佐藤工業さんは仙台など他の地域で同じようなアリーナをいくつも造っておられ、その力を買われて横浜でも造ることになったそうである。すでにオープニングに横浜出身のアーティストの「ゆず」がコンサートをすることも決まっていた。

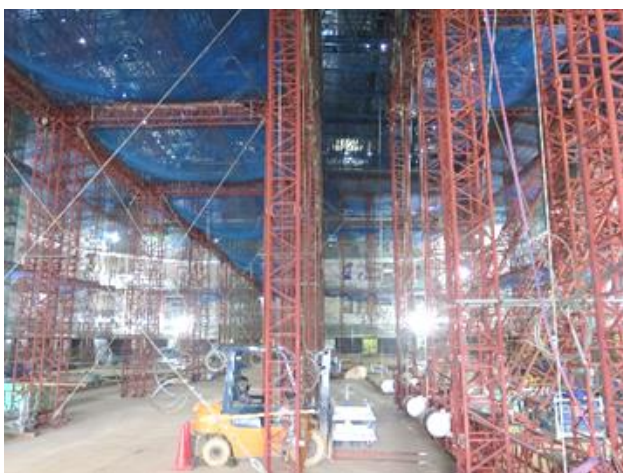


まず最初に、みなとみらい38街区作業所所長の松枝さんと副所長の本田さんからお話を聞いた。屋根のかけ方や客席の

作り方など、スライドで教えていただいたが、なかなか難しい。高く広い屋根を架けるのは、フロアから大きな構造で少しずつ支え前進しながら行っているのに驚き、見てみたいと思った。また安全を守るためには、ロボホン（右上図）という、小型ロボットを使って説明しているというのも興味深かった。



次に現場を実際に見学した。（下図、両方ともアリーナ内）



アリーナはとても広い。教えていただいたのは、作業の建築途中に出た産業廃棄物の分別、建築の方法、建築・解体時に使われる道具や乗り物の使い方、解体のやり方である。また、安全設備についてもお聞きした。以下はその説明である。

(1) 実際に測定器を使い地面から目標物までの高さを測る（平板測量）体験では、初めてで緊張したもののうまく測定でき、貴重な体験になった。（右図）



(2) 針金で鉄筋を固定する作業も体験したが、手順通りに鉄筋を針金で固定するのは難しかった。上手くできなかったので、将来こうした仕事に就いたなら、リベンジをしたい。（右図）



(3) 塗料を壁面に塗る作業は、跡が残らないよう、丁寧に塗り、上手くできて良かった。

(4) 産業廃棄物の分別では、普段聞いたことのないような家庭系と違う工業系の物も初めて分別した。少し手間取ったものの、良い経験になったと思う。こうした作業が地球温暖化の抑制にもつながるため、自分がその助けの一部になっていると思うとうれしかった。
(右図)



(5) 屋根の上ののせていただき、周囲の国道や道路に物をはみ出したり落下したりしないか監視する設備を見学した。(下図)

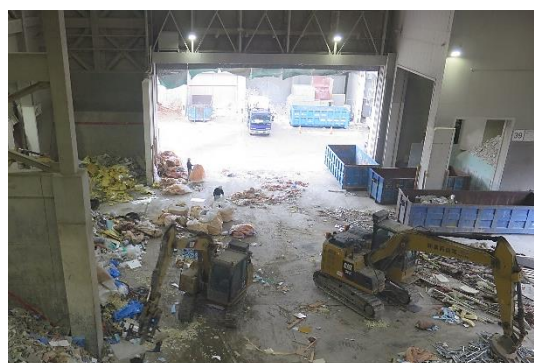
横浜市のJR桜木町駅からすぐで、真横には高速道路の高架橋もあるような、とても便利な場所だからこそ、安全の配慮が欠かせない。



(6) 建物の解体については、北陸支店の伊藤さんに教えていただいた。(右図)佐藤工業が昔解体した東京のビルのビデオを見ながらで、安全と周りが不快に思わないように気をつけているのがよくわかった。



2. 高俊工業株式会社東京臨海エコ・プラント (8月28日(水))



こちらは、建築の途中の段階や解体で出た産業廃棄物を処理するプラントで、産業廃棄物として搬入されるものの90%以上を再生資源としてリサイクルしている。(上図(左右とも):産業廃棄物が最初に搬入されるダンピングヤード)これ

は同業の他の会社さんより優秀で、色々な所から見学に訪れるモデルのような所だった。

まず最初にダンピングヤードで分別するが、この後のいろいろな処理があるにしても、このダンピングヤードでの分別が一番大事だそうである。

その後、確実に再生資源としてリサイクルするため、8種類の選別機がある(右図)。振動で細かい物を落としたり、風で軽い物と重い物を分別したり、あるいは電磁石で鉄やなどの金属を選別したりしている。実物は危険だから見る事はできないが、でき



るだけ機械的に分けられる部分は機械的に分けようとしている。分別のためのセンサーなどは、会社や、他の機関の方とも協力しながら開発をいつも進めているようで、どんどん増設されていっているらしい。電池などは危険なため、人ができるだけ分別している。

中央管理室では、中にモニターがたくさんあった。緊急停止ボタンを押させていただき、モニターをチェックする機会をいただけた。中央管理室の椅子に座るのは、ベテランでないと難しいとのことであったが、緊張した。また、モニターをチェックするにしても、プラントのどこに何があるか分からないと操作ができない。きちんと分別を行うというのは大変なことだ。(上左図)

難しい仕事だが、私たちが生きていく上で必要不可欠だと実感し、感謝の気持ちでいっぱいになった。